



「感謝をありがとうの言葉に」

園長 河原 宏子

子供たちは、2月10日（火）の「生活発表会」に向けて、物を作ったり、描いたり、歌ったり、踊ったり、話したり、手伝ったり、助け合ったり、協力したり、心を合わせたりの体験が毎日続いています。初めて行う4歳児のゆり組も、劇遊びに取り組んでいます。多くの参観者の前で表現することは、今までも挑戦してきたことですが、かなり緊張することでしょう。意欲に満ちた、心地よい緊張の中、のびのび表現させたいと考えています。保護者の皆様には、温かい心と目で参観いただきますようお願いいたします。

さて、この一か月、新年ということで様々な方にお会いし、お話をする機会がありました。そこでは、たくさんの方に「頑張ってください」「応援しています」とお声を掛けていただきました。地域の皆様に見守っていただいているのだと、改めて感謝の気持ちでいっぱいになり「ありがとうございます」とお伝えしました。一方で、子供たちからは、日々たくさんの「ありがとう」の言葉をもらいます。忘れてきた帽子やコップを職員室で貸した時、保育室に手紙を届けたり遊びを見に行ったりした時など、私の顔をみて笑顔で「ありがとう」と言われると、なんて私は幸せなんだろう、とうれしくなります。それは「ありがとう」と言われたからというより、言葉を通して感謝の気持ちを表現できる子供たちのすばらしさを肌で感じるからです。

言葉に出さなくても、心の中で表現している、ということもありますが、言葉というコミュニケーションの手段で気持ちを込めて使えるようになってほしいと思っています。

幼稚園では、必要な言葉を子供たちに繰り返し伝えたり、確認したりしています。それは、自分の気持ちを言葉にのせて相手に伝えることが、これから大きくなっていくうえで、絶対に必要だからです。大人は、子供のモデルとなる存在です。大切なことを大切な人に気持ちを言葉にのせて伝えてまいりましょう。未来に向かって生きている大切な子供たちのために。



今月のねらい

<年少ゆり組>

- ・自分の思いや考えを表現したり、相手の気持ちを聞いたりしながら遊びを進める。
- ・自分の力を発揮する喜びや、学級の友達と一緒に活動する喜びを感じ、意欲的に取り組もうとする。

<年長すみれ組>

- ・共通の目的に向かって、最後まであきらめずに取り組み、やり遂げる満足感や達成感を味わう。
- ・生活に見通しをもって、自分たちで主体的に取り組み、自信や意欲をもつ。

園だよりや幼稚園での最近の様子をホームページにて配信しています。ご覧ください



緑幼稚園 HP
QR コード